

第2回 GEPS e-invoice users' meeting（オンライン）を開催

2026年3月4日、デジタル庁は、第2回 GEPS（政府調達システム） e-invoice users' meetingを開催しました。同ミーティングには、株式会社マネーフォワード及び株式会社TKC（社名アルファベット順）の2社が参加しました。

株式会社マネーフォワードと株式会社TKCは、いずれもGEPSに対し、デジタルインボイスで請求を行うことができるサービス・プロダクト*を実装しています。そのうえで、それらのサービス・プロダクトを用いて、複数の事業者が、複数の省庁に対し、デジタルインボイスで請求を行っています。

*参加2社のサービス・プロダクトのうち、マネーフォワードクラウド請求書（株式会社マネーフォワード）及びインボイス・マネージャー（株式会社TKC）がGEPSに対するデジタルインボイスの送信に対応（2026年2月末時点）。

同会議において、デジタル庁は、参加2社に対し「**デジタルインボイスによるGEPSへの請求がよりシンプルに行えるよう、対応済みのサービス・プロダクトのブラッシュアップを行うとともに、未対応のサービス・プロダクトへも対応を拡大してもらいたい**」と要請しました。

デジタル庁からの要請に対し、参加2社全てが賛同するとともに、各社の取組方針等の説明がありました。



「利用者の皆様が、よりスムーズにGEPSへのデジタルインボイス請求を行えるよう、『マネーフォワードクラウド請求書』のさらなる機能改善等に取り組んでまいります。」



「令和8年（2026年）4月より、『インボイス・マネージャー』以外のサービス・プロダクト（例えば、FXまいスタークラウド）でもGEPSへのデジタルインボイスでの請求を可能にします。また、既存ユーザー以外の事業者の方もGEPSへデジタルインボイスで請求を行うことができるよう、サービスの拡充を図ってまいります。」